

令和8年度 第1回学校運営支援協議会

日時 令和8年7月10日（金）13：30

会場 会議室

【次 第】

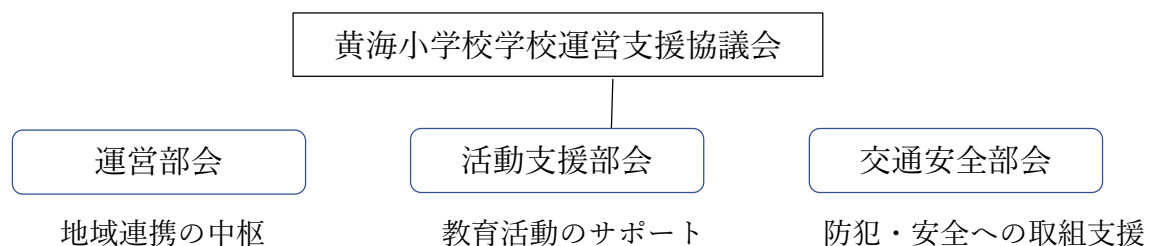
進行：副校長

- 1 開 会
- 2 校長あいさつ
- 3 委嘱状の交付
- 4 役員選出
- 5 授業参観
- 6 協議
 - （1）令和8年度学校経営の基本方針及び重点
 - （2）令和8年度黄海小学校「まなびフェスト」について
 - （3）今年度の地域とともにある学校づくりの重点活動について
 - （4）一関市学校運営支援協議会の機能強化について
 - （5）地域の様子について（情報交換）
 - （6）その他
- 7 その他
- 8 閉 会

令和8年度 黄海小学校 学校運営支援協議会 委員一覧

※ 敬称略

		委 員	備 考
1	学識経験者	葛 城 行 將	運営部会 活動支援部会
2	〃	及 川 清 喜	運営部会
3	黄海こども園 園長	千 葉 はるみ	運営部会
4	黄海地区住民自治協議会 会長	石 田 正 彦	運営部会
5	同上 事務局長	千 葉 松 男	運営部会 活動支援部会
6	伝統芸能伝承指導者	熊 谷 賢 一	活動支援部会
7	黄海老人クラブ連合会 副会長	熊 谷 郁 雄	運営部会
8	民生児童委員 代表	黄 海 千鶴子	運営部会
9	黄海地区住民自治協議会 女性部	鈴 木 真由美	活動支援部会
10	地域防犯隊	千 葉 正 志	交通安全部会
11	読み聞かせボランティア	橋 本 華 恵	活動支援部会
12	黄海小学校 PTA 会長	千 葉 大	活動支援部会
13	黄海小学校 校長	菊 池 知 之	運営部会
14	同上 副校長	甘 竹 浩 枝	交通安全部会



協議 1 令和 8 年度 学校経営の基本方針と重点

めざす学校の姿 「できた！」「わかった！」と喜びを味わえる学校
めざす子どもたちの姿 「また明日！」と笑顔で帰る子どもたち

1 学校経営の基本方針

本校においては、「心身ともに健康で、自主的精神に満ちた人間性豊かな児童の育成」を学校教育目標として掲げ、学習指導要領の趣旨に則り教育活動を展開している。また、課題解決能力の育成、学級経営や心の充実、家庭や地域との連携・協働、児童の個性の伸長を目指し、教育活動を創造的に展開している。先人が築いてきた黄海小学校の歴史を受け継ぎ、また一方で新しい歴史の第一歩を創り出すために下記の 6 点を基本に据えながら、充実した教育活動の実現を図っていききたい。

(1) 学級経営や心の教育の充実、温かい人間関係の確立

学校生活の大方を過ごす学級は、児童の生活の基盤である。その学級が共通の目標をもち、互いに高め合う風土を構築していくことが大切である。そのために、豊かな人間性と心の教育に努め、児童同士が互いを思いやり、仲間の頑張りや良さを認め合えるような、温かい人間関係づくりに努める。今年度は、相手の気持ちを考えた温かな言葉づかいや明るい挨拶を意識させることに重点的・継続的に取り組んでいく。

(2) 基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得と課題解決能力の育成

学習指導要領の趣旨の理解の上に、確実な実施と指導方法の改善により、児童一人一人に基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得を目指し、これらを活用して課題を解決する能力を育成する。そのために、「主体的・対話的・深い学び」の視点から授業改善を進め、タブレット等の ICT 機器も活用しながら、思考力・判断力・表現力等のバランスの良い育成を目指す。

(3) 家庭・地域との連携・協働のもと、地域とともにある学校づくりを推進

家庭・地域との信頼関係を構築するとともに、学校教育目標具現化のための取組を「まなびフェスト」として設定し、学校と児童、家庭、地域が共有してその達成に努める。特に、今年度重点的に取り組む内容については、保護者との連携を密にしながら、一体となって実効的な取組の推進を図っていく。併せて、地域連携の体験活動等の実施を始め、地域とともにある学校づくりの推進に努める。

(4) 児童一人一人に寄り添いながら、一人一人の個性を尊重する教育の推進

児童の多様な個性や課題を受け入れ、全職員が全児童の担任であるという共通の意識で指導にあたり、児童一人一人の個性の伸長に努める。また、絶えず挑戦させることや、困難を乗り越える力の育成を図りながら、望ましい人間関係の構築を図り、自己有用感・自己存在感の育成に努める。

(5) 教育公務員としての使命感とコンプライアンスの堅持

教育公務員として、児童・保護者、そして地域からの信頼を何よりも大切にしなければならない立場であることを厳粛に受け止め、教育公務員としての使命感とコンプライアンスを堅持しながら教育活動の推進に努める。

(6) PDCA サイクルの定着を目指した学校経営

学校評価を通して教育活動の成果を計画的、継続的、総合的に検証して、達成目標の実現状況を具体的に把握・公表し、改善に生かすなどPDCAサイクルの定着を目指した学校経営を行う。また保護者や地域住民の適切な学校経営への参画を促すとともに説明責任を果たしながら、学校・家庭・地域が一体となった組織的な学校体制の構築を図る。

2 本年度の重点

(1) 経営の重点

- ・学級経営の充実と豊かな人間性の育成を目指す
- ・確かな学力の育成と個に応じた指導の充実を目指す
- ・最後までやり抜く粘り強さと心身のたくましさを育てる
- ・まなびフェストの具現化に向けた連携（保護者や関係機関）と実践に取り組む

(2) 指導の重点

ア 学級経営の充実と豊かな人間性の育成

- ① 児童理解に基づく学級経営の充実（子どもの居場所作り）
- ② 場に応じた挨拶や言葉遣いの徹底
- ③ 読書活動の充実
- ④ キャリア教育の充実
- ⑤ 道徳教育の充実
- ⑥ 特別支援教育の充実

イ 確かな学力の育成と個に応じた指導の充実

- ① 「わかる授業」の展開（反復・習熟時間の確保、発問・板書の工夫、振り返りの活用）
- ② 発表する力・対話する力の育成
- ③ ICT 活用による授業改善
- ④ 家庭学習の充実（時間・内容の充実、ノーマディアの推進、家庭読書の習慣化）
- ⑤ 音読の充実（授業の中で、「ことばの時間」で） ※学習の成果を発表する場の設定

ウ 最後までやり抜く粘り強さと心身のたくましさの育成

- ① 最後までやり抜く体力と気力の育成
- ② 基本的生活習慣の育成（「早寝・早起き・しっかりご飯」「居間8ルール」の徹底）
- ③ 徒歩通学、外遊びの奨励、60 プラスプロジェクトの取組
- ④ 交通ルールを守る意識の徹底

エ まなびフェストの具現化に向けた連携と実践

- ① 場に応じた挨拶や温かい言葉遣いの徹底
- ② 読書活動の充実
- ③ 「居間8ルール」の徹底
- ④ P T A と連携した実効的な取組の推進

協議 2 令和 8 年度 黄海小学校「まなびフェスト」について

学校要覧参照

協議 3 今年度の地域とともにある学校づくりの重点活動について

★ 令和 8 年度ご支援いただきたい内容と年間計画（案）

月	学校行事等	ご支援いただきたい内容	備考
4	・登校指導【通年】 ・交通安全教室 ・一斉下校	・登校指導／挨拶運動 ・低学年歩行指導補助 ・児童下校補助	交通安全部会
5	・田植え ・運動会（鶏舞）	・田植え指導、補助 ・鶏舞指導	活動支援部会
6	・校外学習	・地域の案内（歴史や文化施設の説明）	運営部会
7	・学校運営支援協議会		協議会全体
8	・防災学習	・地域の自然災害（被害）の説明	運営部会
9	・稲刈り	・稲刈り指導、補助	活動支援部会
10	・ロードレース大会 ・脱穀	・監察（コース上の安全支援） ・脱穀作業支援	交通安全部会 耕作支援隊
11	・軽トラ市 ・収穫感謝の会	・販売実習 ・餅つき ・調理補助 他	運営部会
12	・学校運営支援協議会 ・しめ縄飾り作り ・教育講演会	・しめ縄飾り作り指導	老人クラブ 協議会全体
1	・子ども芸能発表	・鶏舞指導	活動支援部会
2	・学校運営支援協議会 (2/10 参観日 併催)	・今年度の報告、評価 ・次年度方針説明	協議会全体
3			

他にも、総合的な学習の時間でのゲストティーチャーや地域学習の講師（アドバイザー）として、お願いする場面が予想されます。その際には、事務局を通してご連絡いたします。

また、地域の活動の中で、小学生にも関わってほしい取組等がありましたなら、いつでもご連絡ください。

(4) 一関市学校運営支援協議会の機能強化について

一関市学校運営支援協議会規則（改正）

【従来】第 12 条

校長は、学校の運営に関して、教育課程の編成その他校長が認める事項について基本的な方針を策定し、協議会の承認を得なければならない。

↓

【改正】第 12 条

校長は、学校の運営に関して、教育課程の編成及び健康確保措置その他校長が認める事項について基本的な方針を策定し、協議会の承認を得なければならない。

【黄海小学校健康確保措置に関する方針】

教職員が支えあいながら生き生きと働き、教育に対する熱意と使命感をもって、子どもたちに向き合う。

○最終退勤時刻目標

- ・ 最終退勤時刻を 18 時に設定して取り組みます。

○学校における業務改善の推進目標

- ・ 月平均 45 時間を超える職員は 10 人以下を目指します。

○教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標

- ・ 教職員が業務改善の視点を持ち、年次休暇の取得 10 日以上を目指します。

学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 学校運営支援協議会を中心に、保護者や地域と一体となって、生徒指導・学習指導を行います。
- ・ 教職員の業務やそれに伴う労働時間、必要な支援等を共有し、協働できる職場環境の構築を目指します。
- ・ 外部人材、地域人材を積極的に活用し、教職員が担う業務の明確化を図ります。

(5) 地域の様子について（情報交換）

(6) その他

MEMO

藤沢の子ども達を9年間で育てます！

藤っ子まなびプラン 2026

学校では

「授業の約束」

- 1 「チャイムスタート」
- 2 「あいさつ」「姿勢」「集中力」
- 3 「聴く」「考える」「活動する」等
学習場面にメリハリを
- 4 学びが深まる「発表」「話し合い」
- 5 次の「準備」を終えて休憩時間

1月
中学校実力テスト②

2月
中学校3学期末テスト
家庭学習強化週間④

4月
全国学力調査
小6（国語・算数・理科）
中3（国語・数学・理科）



6月
中学校1学期末テスト
家庭学習強化週間①

8月
中学校実力テスト①
(中3はこのあと毎月)

12月
全国標準学力調査
小1～小6

11月
中学校2学期末テスト
家庭学習強化週間③

10月
県学力調査 小5（国語・算数）
中2（数学・英語）

9月
中学校2学期中間テスト
家庭学習強化週間②

「藤っ子5ヶ条」

- 一 早寝早起き朝ご飯
- 二 家庭学習を毎日しよう
- 三 メディア「居間8」「居間9」ルールを守ろう
- 四 言葉遣いに気をつけよう
- 五 本に親しもう



家庭学習 わたしのめあて・わが家のきまり

家庭では

発達段階に応じて家庭学習の習慣を確実に身に付けます

＜家庭学習での

タブレットの活用例＞

- ◎ 習熟を図ったり、興味・関心に応じて調べ学習を行ったりするなど、家庭学習の質を充実する観点で活用することができます。
- ◎ 保存した授業のデータにアクセスし、その日の学習内容を復習し学びを振り返るためのツールとして活用することができます。
- ◎ 動画で授業内容の解説を見たり、問題を解いたりすることができます。

	小1・2年 基本的な学習習慣を身に付ける	小3・4年 自ら学習に向かう習慣を身に付ける	小5・6年 計画的に学習を進める	中学1・2年 計画的・継続的に学習を進める	中学3年 進路実現に向けて目標を明確にして計画的・継続的に学習を進める
内 容	宿題&ひとり勉強	宿題&ひとり勉強	宿題&ひとり勉強の内容の工夫	宿題&復習・予習	宿題&復習・予習 受験勉強
目標時間	20分以上 30分以上	40分以上 50分以上	60分以上 70分以上	90分以上	120分以上
長期休業中	60分以上	90分以上	120分以上	150分以上	

＜家庭学習は＞

発達段階に応じて、見守りと関わりのバランスを調節していきましょう。

- (1) 子どもの頑張りを認め、できたことをほめていきましょう。
- (2) 時間の使い方を、子どもと一緒に相談しながら決めていきましょう。
- (3) 始める時刻を決め、学習の習慣を身に付けさせましょう。
- (4) 低学年のうちは、宿題や持ち物の準備は連絡帳を見ながら親子で行いましょう。

家庭学習強化週間 目標達成率 小90% 中80%

※ 昨年度達成率 小92% 中78%（期間中、6日以上目標時間を達成できた児童・生徒の割合）

メディア「居間8」「居間9」ルール

一関市教育委員会が推奨するルールです。
「ゲーム機、スマホ、タブレット等の通信機器を
小学生は夜8時
中学生は夜9時には
居間に置いて、使用しません」

この他にも、家庭で利用のルールを決めてやりましょう。